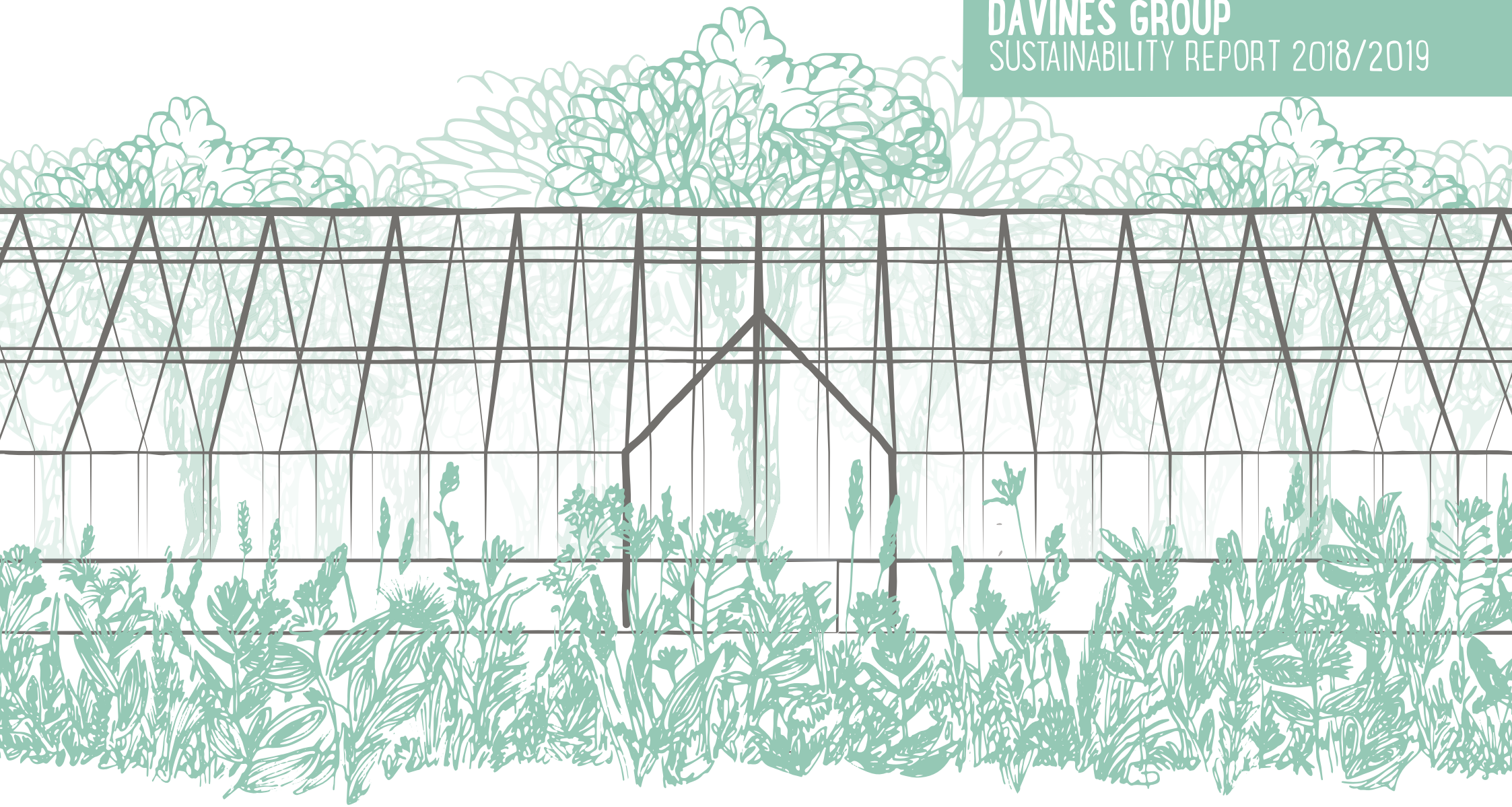
DAVINES GROUP
SUSTAINABILITY REPORT 2018/2019



davines

[comfort zone]

透明性：
「持続可能な美」の礎

「露の滴や湖水、ダイヤモンドにも言えるように、
美を作り上げているものは完璧なまでの誠実さと透明性である」
（ヘンリー・デイヴィッド・ソロー）

形式と実体の優美な融合。科学と感性の結合。製品と人間と自然の調和。美（Kalos）と善（Agathos）。ダヴィネス社の「持続可能な美」を定義するのはこうした考えです。人や環境を尊重し、私たちが暮らし、働く世界を大切にしなければ、本当の意味での美は存在できず、美が芽生え、繁栄することもありません。私たちは細やかな感性と配慮をもって、あらゆることを決め、製品を作り出しています。それが私たちの取り組みです。しかし、それ以上に重要なことは、それが私たちの責任ということ。社員一人ひとりの責任なのです。私たちが日々選択する些細な事柄は、地球の未来、子どもたちの未来、人類の未来につながります。私たちこそが、私たちの暮らす環境そのものだからです。自分自身が環境に配慮しなければ、自らを守ることはできず、美を守ることもできません。アンディ・ウォーホルは「土地を所有し、これを破壊しないことは、最も美しい芸術だ」と言っています。そのため私たちは常に、これが最善のことなのか、あるいはより繊細に、敬意を払った上でなお同じ結果を得ることはできないのかということを自らに問いかけています。このような考えのもと、私たちは世界を変えるべく、判断やプロセス、ルール、物事を進めるときの手法について、常に問い直すようにしました。そしてこれまでの計り知れない努力が結実し、2016年にBコーポレーションの認証を取得したことは私たちの誇りです。しかし同時に次に進むべき道もはっきり示されたと受け止めました。そこで新たな視点で分析を行い、現状とこれからの取り組みについて見つめ直した結果、私たちの持続可能性のレベルはまだ十分とはいえず、完璧にする余地があることに気付きました。判断の全てはパズルのピースであり、より良い善を描いた大望の一部です。そして、これこそが私たちの達成したかった目標だと分かったのです。認識を新たにしたことで、更なる発展には、理想の姿を客観的かつ透明性をもって発信することや、ステークホルダーに私たちの活動内容や理想、成果、反省点、製品が環境に与える影響を伝えることは必然であると理解するに至りました。これまでの歩みや気づきを踏まえ、確信をもっていえることは、透明性がなければ持続可能性は実現できないということ、そして透明性がなければ、美もまた存在し得ないということです。

目次

ダヴィネス社

4 自由・説明責任・透明性

6 事業概要

7 ステークホルダーの車輪

8 沿革

取り組み

9 ブランド

10 SDGsへの貢献

12 ダヴィネスヴィレッジ

14 Bコーポレーション企業としての価値

活動

24 社員

26 地球

30 地域社会

32 追加情報

自由・説明責任・透明性

個人の領域と仕事の領域、地域社会と地球。どちらも強い相互依存の関係にあることはよく知られています。ダヴィネス社もそのことを理解しており、それを踏まえて日々あらゆることを判断しています。

そのことを具体的な形で表しているのが、Bコーポレーション企業としてのダヴィネス社であり、ダヴィネスヴィレッジそのものであり、2019年にオープンしたばかりの研究用庭園です。

私たちは、それが正しく当然との信念の下、顕微鏡をのぞき込むように細部にまでこだわると同時に、望遠鏡のレンズを通すかのごとく遠くを見据えて日々、業務に取り組んでいます。

私たちは持続可能性の分野と化粧品の品質に一段と力を入れています。私たちにはこれまで育んできた「行動を起こす文化」があります。地域社会全体で強化していく必要はありますが、このような文化があるがゆえにイノベーション能力が高く、そのことを確信しているため、さらによい結果を出すことができるのです。広い視野で考えてみると、近い将来私たちを待ち受けている環境や社会面での危機（あるいは機会）が高まっているため、世界中で幸福（アリストテレスのいうエウデモニア）やウェルビーイングの問題が取り上げられるようになり、このことは私たちの事業にとってますます重要なものとなっています。

ダヴィネス社は今後も成長と発展を続けてまいりますが、私たちの関心はもはや「どのくらい（how much）」から「どのように（how）」に移っています。ダヴィネス社にとって「どのくらい」は二の次であり、「どのように」が常に優先するのです。

当社の活動について最新のサステナビリティ報告書をご高覧いただければ幸甚に存じます。

ダヴィネス社会長
ダヴィデ・ボラッティ

OUR PURPOSE

TO BE THE BEST
FOR THE WORLD,
CREATORS OF GOOD LIFE
FOR ALL, THROUGH BEAUTY,
ETHICS AND SUSTAINABILITY.

世界にとって最良の企業となり、
美と倫理と持続可能性を通じてすべての人々に
豊かな生活を届けます。

4年前、サステナビリティ活動について説明することが私たちの責任であるとの結論に至りました。それ以降、さまざまな経験や研究を通して多くのことを学んできました。

企業と業界両方の持続可能性の水準を常に引き上げていくためには、どれほどの努力が必要なのか、経験がその答えを教えてくれます。また経験は、その道がどれほどの悪路なのか、先にどんな障害や失敗が待ち受けているのかも教えてくれるので、私たちはさらに気持ちを引き締めてそれらを乗り越えようとします。

一方で研究は、その存在すら知らなかったものの発見や、見ようともしなかった物事を図らずも発見することに役立ちます。実際、このことは日々の生活の中で誰にでも起こることです。なぜでしょう。情報がない場合や、情報はあってもそれを持っている側が隠しているために入手が困難な場合もあります。また、面倒を避けるために、わざと自分で情報を遮断してしまうこともあります。

私たちが行った研究やこれまでに得た経験は、私たちの目を大きく開いてくれました。なすべきことがどのくらいあるのか理解できています。まずは私たち自身で取り組まなければなりませんが、私たちが最も大切に思うクライアントや私たちと共に歩んでくれる人々とも協力して取り組んでいきたいと考えています。

このような考え方は、企業や業界にとって当然のことをただ受け入れるのではなく、周囲に与える現実の影響をより深く理解しようとする姿勢につながっています。その結果、私たちの行動が与える影響を客観的な基準に基づいて測定することがどれほど重要なことか理解するようになり、その理解をさらに深めていくために高度で総合的なツールも導入しました。

例を挙げると、私たちは原料の安全性と有効性については知っていましたが、客観的な基準を使うことで、その原料の原産地については十分な知識がないことに気づかされました。また、製造段階で環境負荷を大幅に軽減できるプラスチックの使用が可能なことも発見しました。

一方で、廃棄物が実際どの程度リサイクルあるいは回収されているかについては、あまり理解していませんでした。また、「自然」を定義する一般的に認められた基準についても、完全には透明性が担保されておらず、改善の余地があることも明らかになりました。

透明性は、これまで以上に重視していくキーワードです。透明性を引き上げることなく持続可能性を高めることはできません。私たちが透明性を重視していることを証明するために、この報告書をお届けいたします。ご高覧いただければ幸甚に存じます。

CEO 兼 ジェネラルディレクター
パオロ・ブラグッツィ

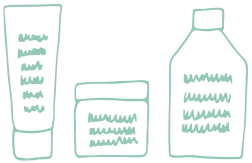
THE DAVINES GROUP

事業概要

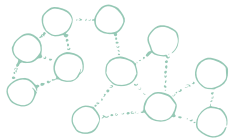
KEY NUMBERS 2018

35 創業年数

3 ブランド数



11 グループ企業数



7 拠点数

パルマ

ロンドン

ニューヨーク

パリ

デーフェンテル

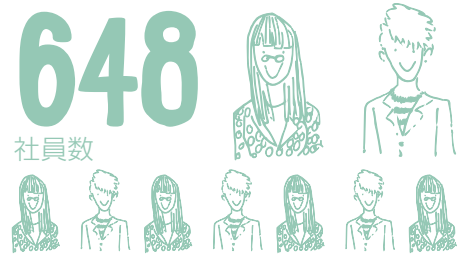
メキシコシティ

香港

販売国の数 **89**

クライアント数34,000社超

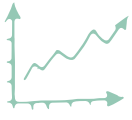
648 社員数



国籍の数 **38**

73 新たな処方数

99 Bコーポレーションのスコア

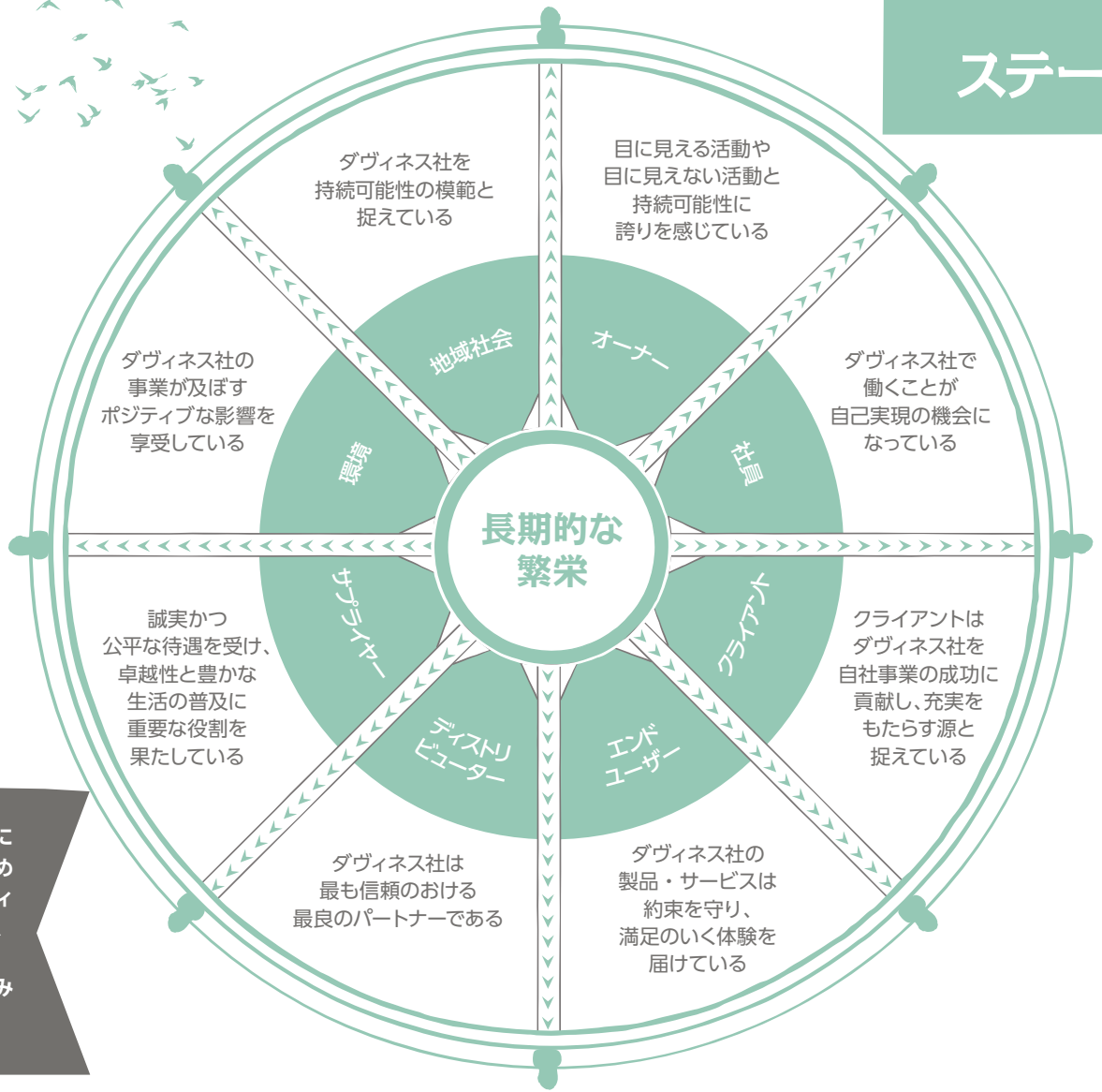


+16.2% 売上高の2017年度比

2500 万 販売個数

THE DAVINES GROUP

ステークホルダーの車輪



ダヴィネス社では事業に直接的・間接的に関わる人々、すなわちステークホルダーのためになる具体的な取り組みをすることで、ダヴィネス社が「長く繁栄」することを念頭に日々、事業に取り組んでいます。
この「ステークホルダーの車輪」は、取り組みの概要を分かりやすく示したものです。

取り組み

ステークホルダー

THE DAVINES GROUP
沿革

1983
ボラッティ・ファミリーが
第三者向けの処方と製造を行う
化粧品ラボを設立

1992
「**ダヴィネス**」ブランドで
製造・販売することを決定

1994
海外での販売を開始

1996
スキンケアブランド「**コンフォートゾーン**」の誕生

2003
ヘルツォーク＆ド・ムーロンが
ダヴィネスの展示スタンドを設計

2004
ニューヨーク支社を設立

2005
「**Carta Etica（カルタ・エティカ）**」(1)を作成

2006
パリ支社を設立
パルマ本社では電力を**再生可能エネルギー**に転換
第1回「**二酸化炭素オフセット**」プロジェクトを実施

2007
メキシコシティとロンドンに支社を設立
「**Sustainable Beauty Manifesto**」(2)を作成

2008
坂茂が**ダヴィネス**の展示スタンドを設計

2009
「**Charter for Sustainable Research**」を作成
第1回「**Sustainable Beauty Day**」を実施

2011
「**Charter for Packaging Research**」を作成

2012
コンフォートゾーンに科学委員会を設立
『*Skin Regimen, Health, Beauty, and Longevity*』を出版

2013
オランダ、ドイツ、ベルギーに支社を設立

2014
第1回「**I Sustain Beauty**」キャンペーンを実施
スローフード協会とのコラボレーションを開始

2015
コンフォートゾーンが新たな処方哲学
「**サイエンスベースド・コンシャス・フォーミュラ™**」(3)
を導入
マッテオ・トゥンが**ダヴィネスヴィレッジ**を設計

2016
香港支社を設立
ダヴィネスヴィレッジの建設開始
Bコーポレーションの認証を取得

2017
マッテオ・トゥンが**ダヴィネス**の展示スタンドを
設計
パルマのオフィスと製造拠点が**カーボンニュート
ラル**を実現

2018
ダヴィネスヴィレッジをオープン
「スキンレギメン」を **/skin regimen/** ブランド
として展開
「**Davines Carta Etica, the New Blossoming（新カルタ・エティカ）**」を発表
全製品のパッケージが**カーボンニュートラル**を実現

2019
ダヴィネスヴィレッジに庭園が完成
ダヴィネス社初のカーボンニュートラル・イベント
として「**World Wide Hair Tour**」を実施
ダヴィネス社を象徴するプロジェクト、
100%カーボンニュートラル製品
「**a single shampoo**」を発売

(1) Carta Etica（倫理憲章）
職場環境の向上のために社員から上がった基本的価値観を全面的に支援します。

(2) “Sustainable Beauty Manifesto”
（美のマニフェスト）
持続可能な美を作り出すために、私たちは社員に対して、自分自身と自分が暮らす世界と自分が大事に思うものを大切にするよう求めていきます。

(3) コンフォートゾーンの統合的アプローチと処方哲学
製品と施術とライフスタイルに関するアドバイスが補完し合うような科学的に高度なソリューションを開発します。自然由来の成分にこだわった革新的な処方システムです。

THE DAVINES GROUP
ブランド

[comfort zone]

SKIN SCIENCE SOUL

ブランドの使命は、私たちの感性や取り巻く世界の美しさを洗練させ、意識の高いライフスタイルを促進することです。

地球とそこに暮らす人々に配慮しつつ、科学技術を駆使した持続可能なソリューションとブランド独自の体験を通して肌と心身の状態を整えます。

davines
sustainable beauty

プロフェッショナル・ヘアケア市場の専門ブランド、ダヴィネスでは、「持続可能性」と「美」の調和のとれた状態を「Sustainable Beauty－持続可能な美－」と呼んでいますが、持続可能な美のある暮らしが私たちの生活とその周囲の世界をより良くすることにつながると考えています。

/skin regimen/

modern plant chemistry™

スキンレギメンは、環境に優しい植物化学、プロフェッショナルの専門知識、科学に裏打ちされたウェルネスの力を通じて、今日の自分が最高の状態でいられるようにサポートします。

OUR COMMITMENT

SDGsへの貢献

2015年、国連加盟国は「持続可能な開発のための2030アジェンダ（持続可能な開発目標：SDGs）」を採択しました。17の目標を掲げたこの共通の持続可能な開発計画は、各国政府をはじめ、企業、個人の協力のもと2030年までの目標達成を目指しています。2016年、ダヴィネス社はこれに呼応し、以降毎年「サステナビリティレポート」で貢献内容の具体的な成果を紹介しています。

2018年には一段と厳しい目標を定め、SDGs達成に取り組むだけでなく、これを社員やステークホルダーと共有することにしました。ダヴィネス社が出版した『An Extraordinary Manual to Make the World a Better Place』は、SDGsをヘアサロンで実践するための124のアイデアを紹介したもので、仕事を通じて世界をより良くしたいと願う人々にとって具体的な参考例を示しています。SDGsの重要性を共有する取り組みとしては他にも、社員のための社内ワークショップ、Bコーポレーション認証企業のための社外ワークショップを開催しました。

ダヴィネス社では社員の考えや議論を刺激するため、SDGsを図で示す新たな方法を常に模索してきました。下の図*は東洋哲学にヒントを得たもので、持続可能な開発目標を総体的に捉えて表しています。また、私たちは幸福を人と人との調和、人と自然の調和、人と精神性*の調和という3つの領域のバランスが取れた状態と捉えるブータンの国民総幸福量という考え方に賛同しています。

▼ ダヴィネス社が2019年度に取り組むSDGs

◯ ダヴィネス社が2018年度に取り組んだSDGsとその成果

*クレジット：“Happiness SDG Pyramid” United in Diversity Creative Campus @Kura Kura Bali.
転載禁止

SDGsに関連した取り組みの一部

SDG	プロジェクト
3	**「Wel-Fair」社内プロジェクト** パルマ本社と海外支社の社員のウェルビーイングを目指す総合的なサービスを約束。具体的な内容は健康、ワーク・ライフ・バランス、職場環境、個人／プロフェッショナルとしての成長。
5	**リーダーシップの機会** 包摂性を受け入れ、会社全体で男女を問わず社員に平等に機会を与えることで、パルマ本社と海外支社の両方で男女が公平に管理職に就けるようにする。
8	**社会的協同組合に製品のパッケージを委託** 社会的に恵まれない人々の雇用を確保するために、社会的協同組合に委託する業務の割合を徐々に拡大する。
10	**包摂性に関する研修** 包摂性に関する研修に参加する社員の数を着実に増やし、偏見のない職場環境を作る。
11	**地域社会のプロジェクト** 「I Sustain Beauty」「Parma io ci sto」「Km Verde（グリーンキロメートル）」などのプロジェクトを実施し、国内外の文化遺産と自然遺産の保護に対する取り組みを強化する。
12	**廃棄物管理** 廃棄物の削減・リサイクル・リユースのためにダヴィネスヴィレッジでの最善策を講じる。
12	**プラスチックの削減** プラスチックの量を着実に減らすため、「Charter for Packaging Research」に則って、使用中のパッケージを継続的に分析する。
12	**LCA／SLCA分析** ダヴィネス社製品の環境影響をバリューチェーン全体で質と量の観点から分析する。

SDG	プロジェクト
13	**カーボンニュートラルな製造施設** 排出源で排出量を削減し、間接的な温室効果ガス（CO_2e）の排出量を相殺することで、製造施設の CO_2e を低減してカーボンニュートラルを実現する。
13	**パッケージの間接的な温室効果ガスのオフセット** 全ブランドのパッケージ製造による間接的な温室効果ガスの排出量を相殺する。
14	**海洋の保護** 海洋の保護と浄化を目的とするプロジェクトとイニシアチブを推進する。
15	**スローフードプレシディオの発足を支援** スローフード認定の原材料を使用するとともに、生物多様性を保護してダヴィネス社の処方に利用できる成分を確保する新しいプレシディオを発足させる。
17	**サプライヤーに持続可能性の遵守を奨励** 社会・環境面での持続可能性に関する最良慣行をサプライヤーの間に広め、その実践者を増やす。特に再生可能エネルギーとBコーポレーションの認証に注力する。
12 13 14 15	**持続可能性を象徴する製品の開発** 自然成分と環境負荷の少ないパッケージという特徴を備えた、持続可能性が極めて高い製品を開発する。
3 11 13 17	**大気汚染対策として緑のフェンスを建設** パルマの民間団体や企業の協力の下、幹線道路 Autostrada del Soleに沿って「Km Verde（グリーンキロメートル）」を建設。幅の広い帯状緑地で、走行する車の排気ガスによる粒子汚染から都市を守る。

OUR COMMITMENT
ダヴィネスヴィレッジ

2018年7月に完成したダヴィネスヴィレッジは新社屋というだけではなく、社員が働き、学び、刺激を受け、実験を行う場所であり、見学に訪れる人々にダヴィネス社を体感してもらうための中心的な場所となっています。ダヴィネスヴィレッジを作るうえでインスピレーションとなったのは持続可能性とウェルビーイング、そして「美」です。この「美」は、人々の間に浸透し、その考えや関係性をも刺激しています。ダヴィネスヴィレッジでは、あらゆるアイデアが生まれ、夢だったものは現実のプロジェクトとして動き出し形になっていきます。ダヴィネスヴィレッジは、個々がスキルを習得し、お互いが刺激しあうことでより良い環境を作ることが出来る場所、そして訪れる人だれもが寛げる場所です。

ダヴィネスヴィレッジで働く

ダヴィネスヴィレッジは資源を節約し、最適化できるように設計されています。しかし言うまでもなく、持続可能性を十分に発揮するためには、日々、ここで業務にあたっている社員の協力が必要です。そこで、ダヴィネス社の取り組みをステークホルダーに明らかにするガイドブック「Guide to Sustainability」を作成しました。このガイドブックは特に社内のステークホルダーに向けたものですが、それと同時に、社員が変革の重要な担い手となるように、その成長を後押しすることも目的としたものです。このガイドブックが日々の選択と行動の指針となることで、職場が最も優れた環境活動の場になることを願っています。

ダヴィネスヴィレッジで学ぶ

ダヴィネスヴィレッジは議論を行う場であり、新しいアイデアが生まれる場でもあります。毎日、アカデミーへ通うヘアスタイリストやスキンケアのスペシャリストのみならず高校生や大学生も、プロとしての知識を習得しています。ダヴィネスの研修は、刺激的かつ独自の内容で個人のニーズに合った学びを提供し、新人のヘアスタイリストにとって成長のチャンスとなるように構成されています。一方、コンフォートゾーンの研修は、心身の統一に焦点を当て、セラピストとしてのテクニックと人間的な成長を組み合わせたものです。これはがん患者の治療に必要な共感を用いた「Beauty Reloaded」などのプロジェクトにつながっています。

ダヴィネスヴィレッジの見学

2018年のオープン以来、ダヴィネスヴィレッジにはクライアントをはじめ、学生、社員の家族、一般の方、企業、地元の団体など、世界71カ国から10,500人以上が見学に訪れています。ダヴィネス社がどのような企業で、どのように事業を行っているのか、またその理由について理解を深めてもらう機会となっています。見学者の受け入れには3つのルートがあり、そのうちの1つが「Romance in Parma」です。ダヴィネスヴィレッジを見学し、地域色のある教育的なアクティビティに参加してもらいます。その目的はダヴィネス社の価値観だけではなく、私たちが働き、暮らす地域のスピリットも理解してもらうことです。

ダヴィネスヴィレッジで受けるインスピレーション

ダヴィネス社には、周囲の人々に心を開き、活発に議論し、私たちを豊かにするアイデアを育む社風があり、ダヴィネスヴィレッジはこの理念が実現する場所となっています。パルマ本社では一年を通して会議やディナー、パーティ、工場見学、ワークショップなどを開催しています。各イベントのテーマは多岐にわたり、参加者に気付きや学びを与えています。ブータン・スタディー・センターの代表は国民総幸福量について、パタゴニア社の創業者は世界を救うために会社が取るべき行動について、グーグル・イタリアのCEOは人工知能が私たちの生活に与える影響について、それぞれ語ってくれました。

ダヴィネスヴィレッジでの実験

36,000平方メートルの広さを誇るダヴィネスヴィレッジの庭園は「オープンエアの研究開発ラボ」です。研究者がサンプルを収集して、処方に使う自然原料をテストしています。この研究用の庭園では、ハーブや薬用植物、芳香性植物、染色用植物など6,000余りの植物が栽培されています。温室は温度と湿度が管理され、温帯、熱帯湿潤地帯、乾燥熱帯それぞれを代表する植物を栽培できるため、利用できる植物の幅が広がっています。また、植物園ではダヴィネス社製品を販売している国を代表する樹木が栽培されており、私たちがいかに多文化の世界を大切にしているか、その思いを表しています。

OUR COMMITMENT

Bコーポレーション企業としての価値

創業以来一貫して持続可能性を意識してきましたが、その思いは時の経過とともに少しずつ強くなり、今では経営戦略の中心テーマになっています。今日、持続可能な開発は日々の生活の一部となり、**世界にとって最良の企業になること**が私たちの今の課題です。以下に挙げるプロジェクトは、人が好奇心を持ち、何かに参加し、共に歩み、他者と物事を共有するとき、どのような成果が生まれるのかを紹介したものです。結論をいえば、持続可能な開発は協力があって初めて実現するのです。

ETHIOTREES（エチオツリーズ）

ステークホルダー

ディストリビューター、クライアント

成果

- エチオピア北部高原地帯の生物多様性が高まり植生が拡大
- 参加した地域社会の住民13,600人に間接的な影響
- 間接的な温室効果ガス排出量10,000トンに相当する排出削減量証明
- 以下において排出量を相殺
  - ダヴィネス社の全製品パッケージ
  - 製造施設、パルマ本社、海外支社（現在、カーボンニュートラルを達成）
  - a single shampooを手始めに製品のライフサイクル全体
  - ショーイベント：2019年「World Wide Hair Tour」

間接的な温室効果ガスの排出量を相殺するために、ダヴィネス社は非営利団体 EthioTreesを支援することを決め、エチオピアの土壌と森林を再生し、飲料水の利用を可能にするプロジェクトを実施しました。このプロジェクトはダヴィネス社が独自に行っており、森林の生態系回復や水資源の保全と改善、農業推進のほか、養蜂や香料抽出の支援による地元経済の活性化など、幅広いメリットをもたらしています。ダヴィネス社が砂漠化のリスクの高いエチオピアでプロジェクトを実施することにしたのは、この国には自然の生態系回復と社会的発展強化の点で大きな可能性があり、全世界のためになると考えたからです。

OUR COMMITMENT

Bコーポレーション企業としての価値

A SINGLE SHAMPOO

ステークホルダー

クライアント、エンドユーザー

成果

- 自然由来成分95%（通常の算定方法より厳格なダヴィネス社の方法で算出）
- 生分解性の成分98.2%
- 有効成分は100%自然成分
- エッセンシャルオイルから生まれた自然の香り100%
- カーボンニュートラル100%：製品のライフサイクル全体で排出される間接的な温室効果ガスの排出量を相殺
- バイオ素材のプラスチックパッケージを設計し、市場平均より少ない量のプラスチックを使用

「a single shampoo」の誕生は、持続可能性のために「最善を尽くす」だけでは不十分であるという思いから始まりました。そこでダヴィネス社は2015年、これまでで最も持続可能性の高いシャンプー「a single shampoo」を開発することで、美容業界の持続可能性基準をさらに引き上げるべく、新たな基準を定めることにしました。4年間にわたる研究と262種類の処方を経て、製品はなお進化を続けており、完璧を追求しています。このシャンプーはプロの品質を提供すると同時に、「持続可能なライフサイクル・アセスメント（SLCA）」の原則を実現するために開発されたものです。SLCAは、製品の全ライフサイクルにおいて発生する環境負荷が天然資源や環境、社会にもたらす影響を客観的かつ透明性をもって測定するためのツールです。「a single shampoo」は、ダヴィネス社の価値観と研究成果をこれまでで最も完璧に反映した製品です。

DO WE WANT PLASTIC FROM THE MEDITERRANEAN ON OUR PLATES?

–地中海のプラスチックごみが私たちの食卓に–

ステークホルダー

イタリアの全Bコーポレーション認証企業

成果

- Bコーポレーション認証企業29社が参加
- 13業種が参加
- 53名が会議に参加

ダヴィネス社は「B Corp Italy 2019 Impact Project（イタリアBコーポレーション2019インパクト・プロジェクト）」で優勝しました。このコンテストは、社会に大きな影響を与えるプロジェクトを構想し、イタリアの全Bコーポレーション認証企業が力を合わせて実現するというものです。ダヴィネス社が提案したのは「地中海のプラスチックごみが私たちの食卓に」と題するプロジェクトで、2019年度に開始予定です。このプロジェクトの目的は、海洋生物と私たちの健康を守るために地中海ごみベルトからプラスチックごみをできる限り除去することです。この意欲的かつ象徴的なプロジェクトは、国全体のBコーポレーション認証企業が参加するプロジェクトとしては世界初のものです。ダヴィネス社が中心となって運営し、プロジェクトを推進する上で最も重要な分野について協議する会議の準備も始まっています。

I SUSTAIN BEAUTY

ステークホルダー
ディストリビューター、クライアント、エンドユーザー

成果
- 美を守り、広めることを目的としたキャンペーン
- 2014年の開始以来240のプロジェクトを世界中で実施

2014年に始まった「I Sustain Beauty」は、美を守ることを目的としたダヴィネス社のキャンペーンです。社会やアート、環境分野で展開するさまざまなプロジェクトを呼びかけ、これに取り組んでいます。4年目となる今年、ダヴィネス社は「Adopt a Place」をテーマにアイデアを募りました。このプロジェクトは、それぞれの国が1つの場所を保護し、元の輝かしい状態に戻そうというもので、その場所は景観でも、魂の場所でも、共通する記憶の中の場所でもかまいません。このプロジェクトでは、その国の有形遺産の修復や文化遺産、伝統、天然資源の保全をすることができます。「I Sustain Beauty」は、Bコーポレーションの価値観と一致した互いを助け、互いのためになる手法で、個々の能力や感性に従い良い影響を世界にもたらすことを促す取り組みです。

SUSTAINABLE SALON PROGRAMME
サステイナブル サロンプログラム

ステークホルダー
クライアント

成果
- 外部団体が認定する、ヘアサロンのための持続可能性認証の創設

SUSTAINABLE SALON
davines

環境と社会の持続可能性を高めようとしているヘアサロン向けに「サステイナブル サロンプログラム」認証を創設しました。2019年に開始したこの国際的なプロジェクトは、ヘアスタイリストがサロンの持続可能性を測定の上、長所と改善点を把握し、それを踏まえて対応を考えることができる機会となっています。このプログラムはヘアサロン専用に構成されており、目標は認証を取得することにあります。認証を受けるためには、100点満点で50点以上のスコアを獲得する必要があります。ダヴィネス社はこのスコアをクリアできるように、特別なウェビナーや講座を提供してメンバーのヘアサロンを支援し、年に1回、最優秀サロンを表彰する授賞式を開催します。

OUR COMMITMENT

Bコーポレーション企業としての価値

THE NIGHT OF THE THIRD DAY

ステークホルダー

ディストリビューター、クライアント、エンドユーザー、個人、民間組織、公共団体

成果

- 招待客と社員合わせて1,500人を含む3万人が参加
- ダヴィネス社が 43,500ユーロ（約 517万円）を出資
- 展覧会「The Third Day」の来場者数1,000人以上
- イベントを通してパルマ市に寄付

「The Third Day」は、人間と自然の関係を取り上げた展覧会で、会期中の 2018年5月 26日には、展覧会にインスパイアされたイベントがパルマ市全域で夕方から開催されました。「The Night of the Third Day」と題したこのイベントは、ダヴィネス社がパルマ市の住民や来場者に贈ったもので、パルマ市と協力して開催しました。舞台芸術や映画上映、コンサートなどのイベントが、街の至る所で行われました。街そのものがまさに夢のような舞台となって盛り上がり、普段一般には非公開の場所を見学することもできました。パルマ市の魅力が文化活動や音楽、舞台芸術、企業活動の紹介など、さまざまな形で発信され、料理やワインも振舞われました。

PARMA 2020: CULTURE SETS THE BEAT

Proposal of a Complementary Strategic Plan to the Parma 2020 Candidacy Dossier

「パルマ 2020：文化が刻むリズム」
立候補に際してパルマ2020での相補的戦略計画を提案

ステークホルダー

個人、民間組織、公共団体、ディストリビューター、クライアント、エンドユーザー

成果

- パルマ市が 2020年の「イタリア文化の首都」に選出

官民の素晴らしい連携によってパルマ市が 2020年の「イタリア文化の首都」に選出されました。ダヴィネス社はこのプログラムに積極的に関与しており、今後は気候や環境に関する緊急課題に加えて、国の成長を図るツールとしてGDP以外の尺度を使用する必要性について検討する国際サミットの開催にも関わっていく予定です。また、民間人を対象とする2つの公式要請を受け、そこでも重要な役割を果たしていきます。その1つが「Open Companies」です。これはパルマ市の化学医薬品セクターの重要性を記録調査や出版物、独自の旅行プランの作成を通じて再発見するというものです。もう1つは現在構想中の「Creative Driven Companies」で、独創性豊かな起業家を後押しすることを目的としています。

A TREE OF YOU

ステークホルダー
ウェブユーザー

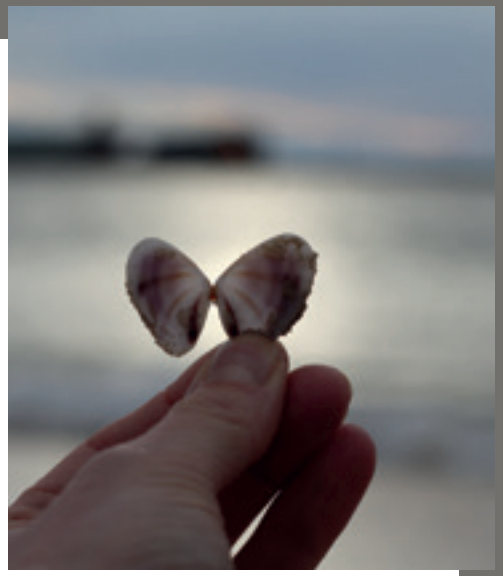
成果
- シチリア島に500本のザクロを植樹
- 1,250人以上のユーザーが参加

「A Tree of You」は、環境のための活動であると同時に社会的意義のあるプロジェクトです。このプロジェクトはウェブサイトのゲームを通して、森林保護に寄与するものです。ユーザーは atreeofyou.comのウェブサイト上で自分の好きな樹木を作り、それを Treedomの協力で現実の世界に植樹することができます。2018年9月の開始以来、ウェブサイトで作られた樹木はシチリア島に植樹され、Carpe Diem Associationの協力で育てられています。同組織は自閉症の方のための慈善団体であり、植樹は自閉スペクトラム症と診断された若年層の社会性を促す活動にもなっています。

TUTELIAMO IL MARE

ステークホルダー
クライアント、社員、エンドユーザー

成果
- 1,587店のサロンが参加
- 環境団体Legambienteの「TARTALOVE（タートルラブ）」プロジェクトに 33,946ユーロ（約400万円）を寄付
- 33,946人のエンドユーザーが地中海とウミガメの保護の重要性を認識
- ダヴィネス社の社員をはじめ、その家族、サプライヤーなど124名の参加者がボランティアとしてパルマリア島とパルマ川の河川敷で活動



ダヴィネス社の「TuteliAMO il mare」プロジェクトは、海洋汚染をきっかけとして2018年に開始した意識向上のための取り組みです。環境団体 Legambienteと協力し、3つの活動を行っています。その1つが、社員による海辺と河川を清掃する二日間のボランティア活動、2つ目がヘアサロンとそのお客様に呼びかける「海辺と海底の清掃」への参加、3つ目がウミガメを保護するための「TARTALOVE」への募金活動です。2019年度、「TuteliAMO il mare」は河川の重要性に焦点を当てていきます。河川が現在、ごみを海へ運ぶベルトコンベアのような役割を果たしているからです。また、「Il Po d’ AMare」という革新的な実験プロジェクトも支援しています。このプロジェクトは持続可能な開発財団 Castalia and Coreplaが Po River Basin Authorityと組織的に連携して推進しています。

TuteliAMO il mare：海を愛し、守るの意。TARTALOVE：ウミガメへの愛の意。Il Po d’ Amare：ポー川への愛の意。

OUR COMMITMENT

Bコーポレーション企業としての価値

FOOD FOR CHANGE

ステークホルダー

クライアント、エンドユーザー

成果

- 料理本『Put Biodiversity on the Table –食卓に生物多様性を–』2万冊を配布
- スローフード団体Slow Food Foundation for Biodiversityに10,000ユーロ（約120万円）を寄付

気候変動の問題には食卓でも取り組むことができます。ダヴィネス社は非営利団体スローフードと協力し、「Food for Change」プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは食品に対する意識向上を図るもので、具体的な解決策を料理本の中で紹介しています。その基本原則はシンプルなもので、旬のものを食べる、肉の消費を減らす、地元で生産されたものを買う、残り物をうまく活用して食品の無駄を減らす、の4つです。2019年3月にはこのプロジェクトに参加したヘアサロンが、生物多様性保全の活動に賛同したお客様にこの料理本を配布しました。

ノルウェーのディストリビューターの事例

WAVE OF CHANGE

ステークホルダー

ノルウェーのディストリビューター、
クライアント、エンドユーザー

成果

- スカンジナビアの海洋汚染対策に取り組むNordic Ocean Watchに4,300ユーロ（約51万円）を寄付
- 50店のヘアサロンが参加

「Wave of Change」は、Bコーポレーションの価値観の普及と海洋汚染に対する意識向上を図るというノルウェーのディストリビューターのアイデアから生まれました。このプロジェクトは、具体的な活動を通して海を守る環境団体Nordic Ocean Watchと連携して作り上げたものです。2018年11月の開始以来、ヘアサロンとそのお客様は、海洋を清掃する活動への寄付や、仲間との海辺・公園・街中の清掃活動を通して、このプロジェクトに参加しています。

スウェーデンのディストリビューターの事例

BEE THE CHANGE

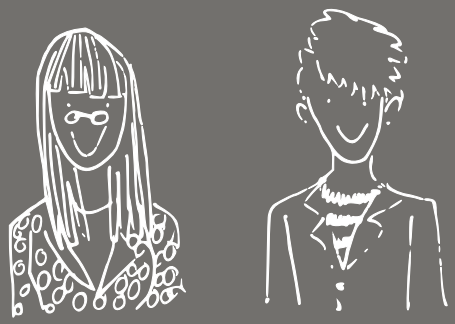
ステークホルダー

スウェーデンのディストリビューター、クライアント、エンドユーザー

成果

- 150店のヘアサロンが参加
- ミツバチの栄養に最適な花を植える団体 Bee Urbanに16,000ユーロ（約190万円）を寄付
- 1,000人以上のエンドユーザーが世界各国のミツバチの重要性を認識

Bコーポレーション認証企業であるスウェーデンのディストリビューターが 2017年、「I Sustain Beauty」プロジェクトにインスパイアされ、非営利団体 Bee Urbanと連携した活動を開始しました。Bee Urbanは都市部の生物多様性を保護し、受粉におけるミツバチの重要性と地球の均衡を保つ必要性に関する認識を広める活動に取り組んでいます。スウェーデンのヘアサロンが参加したことで、資金調達のための２つのプロジェクトが実現しました。1つは、参加ヘアサロンのお客様による「フラワーボム」の購入です。フラワーボムを地面に置いておくと、生分解性の球体からミツバチが特に好む花の種が出てくるというものです。もう1つは、ヘアサロンのお客様による料理本の購入で、はちみつを使った料理の数々をご紹介しています。この２つのプロジェクトの収益金はすべて Bee Urbanに寄付されました。



PEOPLE
社員

PLANET
地球

COMMUNITY
地域社会

OUR PERFORMANCE
社員

ダヴィネス社では社会に良い影響を与え、世界中の社員のためになることを実践しています。

2018年の成果

社員のウェルビーイング（幸福）を
サポートするサービスを提供して
職場環境を改善

ダヴィネスヴィレッジがオープンした 2018年、ダヴィネス社は社員のウェルビーイングを向上させるサービスを数多く立ち上げました。
特に重要なサービス事例：**カフェテリア**では良質で健康に良い食材を使った食事を無料で提供しています。また、**個別サービスを提供する新たな契約**を締結して、会社への医薬品の配達や地元 Stuardオーガニックファームの製品の配達など、社員の個人的なニーズの管理を容易にしました。このほか、社内にトレーニングのクラスを用意し、社員が心身のバランスを整えることができるようにしています。

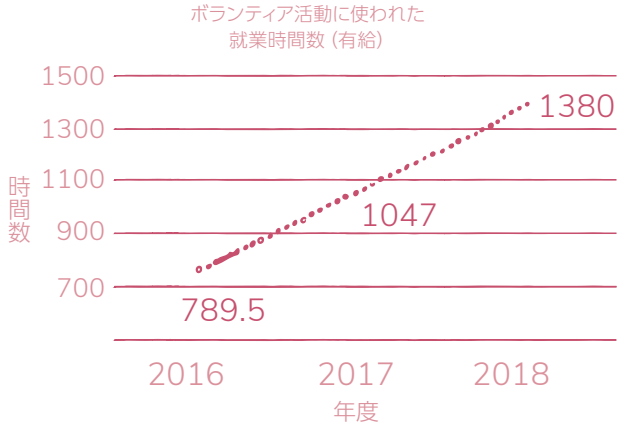
63.2% **パルマ本社と海外支社で**
持続可能性に結びついた目標を定めている
経営幹部の割合

パルマ本社と海外支社の経営幹部が**持続可能性に関連する共通目標**を明確に定めた結果、目標である 60%を達成しました。共通目標を定めたのは、会社の意思決定者である経営幹部が、持続可能性が売上や利益と同様に重要な測定すべき指標であると理解できるようにするためです。

職務上在宅勤務が可能な
希望者を対象に1カ月4日までの
スマートワークを実施

ダヴィネスヴィレッジがオープンした 2018年 7月から、職務上在宅勤務が可能な社員を対象に1カ月4日までのスマートワークを実施しています。これにより、会社のネットワークにアクセスできるインターネット環境が整っており、同僚と効率的に仕事ができる限り、**社外での勤務が可能**となります。スマートワークは「Davines Carta Etica, the New Blossoming（新カルタ・エティカ）」に定める価値観の一環として導入されたもので、ダヴィネス社は社員をこれまで以上に**信頼**し、**責任を与えています**。この導入から1年が過ぎ、間接的な温室効果ガスの排出量は減少し、仕事の質は向上、ワーク・ライフ・バランスも改善され、会社と社員の両方に大きなメリットがあることが分かりました。

+31.8% **ボランティア活動に使われた**
就業時間数（有給）の増加率



社内外でボランティア活動を数多く実施したことで、2018年度の目標20%増を大きく上回りました。社員は**環境活動**、**社会活動**または**2018年度に新たに導入した文化的活動**の中から社外でのボランティア活動を選ぶことができます。文化的活動ではパルマ市の Palazzo del Governatore（総督宮殿）で開催された展覧会「The Third Day」に取り組みました。社内での活動では、ダヴィネス社のボランティア活動を監督する社内グループ「**Solidalmente**」へと社員が参加し、わずかに傷のある回収品を使って資金集めなどに取り組むプロジェクトを立ち上げました。

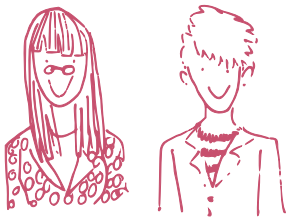
目標達成／期間内にプロジェクト完了　目標未達／期間内にプロジェクト未完　ダヴィネス社全体のデータ　パルマ本社のデータ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
FOR THIS AREA

2018年のその他の進展と指標

社員648名について

62%
女性



38%
男性

201 イタリア以外の国籍を持つ社員の数

40歳 平均年齢

3年 平均勤続年数

ダヴィネス社の価値観の職場への反映

98% 業績連動型賞与を受けている非管理職の割合

75% ウェルビーイング・プラットフォーム「ダヴィネスケア」を利用している社員の割合

44% 女性管理職の割合

16.8時間 社員1人当たりの年間平均研修時間

2019年度の目標

パルマ本社と海外支社で持続可能性に結びついた目標を定める経営幹部の割合を80%にすること。

任意の産休中の金銭支給と男性社員の育児休暇（法定休暇以外）日数を2倍にすること。

新入社員以上のレベルが求められる新しい役職の30%を社員が占めるようジョブローテーションを行うこと。

製造・梱包部門の社員のタイムカードを廃止し、全社での完全撤廃を達成すること。

パルマ本社と海外支社の経営幹部に360度評価を実施すること。

OUR PERFORMANCE
地球

ダヴィネス社は全製造過程について環境への影響を測定しています。環境に良い影響を与える製品を作ることがダヴィネス社の目標です。

2018年の成果

水資源、特に海洋を保護する
プロジェクトの立ち上げ

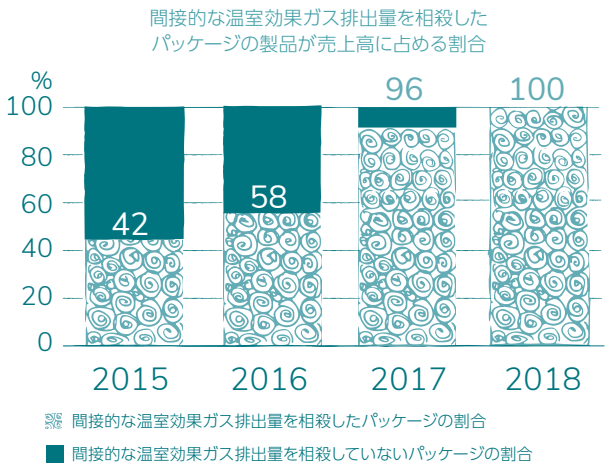
2つのプロジェクトを立ち上げて、目標を達成しました。1つ目の「**TuteliAMO il mare**」は、33,946人のエンドユーザーに地中海とウミガメの保護の重要性を認識してもらうダヴィネス本社のプロジェクトです。もう1つの「**Do we want plastic from the Mediterranean on our plates?**-地中海のプラスチックごみが私たちの食卓に-」は、ダヴィネス社がイタリアBコーポレーション・サミットで提案した活動で、地域社会に良い影響を与える最優秀プロジェクトに選出されました。2019年度に開始する予定です。目標は地中海ごみベルトからプラスチックごみをできる限り除去することです。

ダヴィネスヴィレッジでの使い捨てプラスチックの廃止

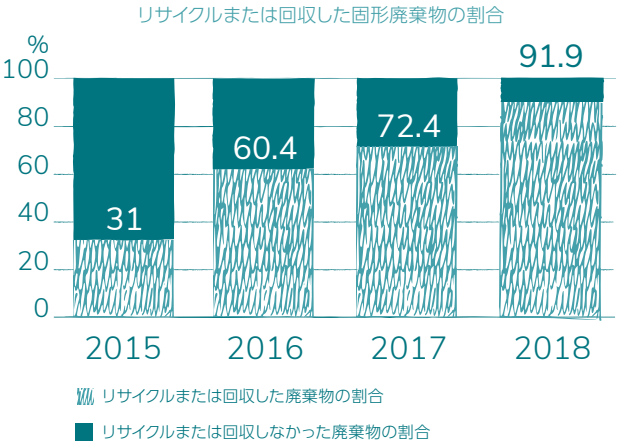
ダヴィネスヴィレッジでは使い捨てプラスチックを使用していません。プラスチック製のコップ、ナイフ、フォーク、ボトルは**ガラスや陶器、ステンレス**に交換し、社員にはろ過した水道水を入れるための水筒を支給しました。また、他にもプラスチック製品の使い捨てを生じさせる間接的な要因を取り除くため、自動販売機は設置せず、**包装が不要な軽食**を提供し、紅茶やコーヒーなどの飲料についても、使い捨てのカプセル式を中止しました。

100% **間接的な温室効果ガスの排出量をオフセットした パッケージの製品が売上高に占める割合**

設定した目標を達成できたことを大変誇りに思っています。**ダヴィネス社の全ブランドは2018年から全てのパッケージ製造で排出される間接的な温室効果ガス（CO_2e）を100%相殺しています。**これは2006年にダヴィネスエッセンシャルシリーズから開始した長年にわたる取り組みが結実したもので、2016年には対象とする製品ラインを増やし、パッケージ製造に伴うCO_2eの相殺を一段と強化しました。現在は他の領域でも相殺に向けて新たな取り組みを進めています。



91.9% **典型的な廃棄物発電プロセスへの利用を含め、リサイクルまたは回収した固形廃棄物の割合**



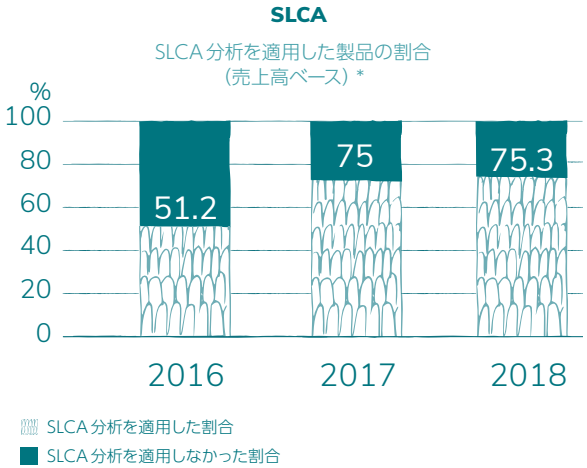
2018年度の目標95%は未達となりました。新社屋への移転によって大量の廃棄物が出た上、それらをリサイクルしたり、廃棄物発電プロセスに利用したりすることができなかったためです。このことは**ダヴィネス社にとって貴重な経験**となり、今後はこのような廃棄物を出さないようにするという意識を更に高めることになりました。

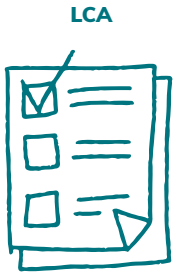
目標達成／期間内にプロジェクト完了　目標未達／期間内にプロジェクト未完　**リデュース・リユース・リサイクル・プロジェクト**　ダヴィネス社全体のデータ　パルマ本社のデータ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
FOR THIS AREA

2018年のその他の進展と指標

ダヴィネス社製品の影響の客観的測定





16.2% **LCA分析を適用した製品の割合 (売上高ベース) ***

ダヴィネス社では、持続可能なライフサイクル・アセスメント（SLCA）とライフサイクル・アセスメント（LCA）の2つの評価手法を採用してライフサイクルの各段階にある製品の持続可能性を測定しています。

SLCA分析では、持続可能性に関する4つの前提条件―天然資源の採取、人工的な物質の製造、物理的な手段による自然の劣化、人間の基本的ニーズを満たそうとする行動を妨げる状況の創出―に与える影響を検討して製品の持続可能性を定性的に評価します。

一方、**LCA分析**は科学的な基準に基づいて、特定のインパクトカテゴリーに製品が及ぼす影響を定量的に評価するものです。例えば、大気中の間接的な温室効果ガスの排出量や製品のライフサイクルの各段階で生じる水資源の酸性化などです。

*データは Davines S.p.A.の売上高に基づいています。

成分に含まれる自然成分の新しい算出方法

持続可能性と透明性の考え方を踏まえ、ダヴィネス社は2018年、自然成分を分類する独自基準を定めることにしました。この新しい基準では、原料に一切の合成成分を含まないこと、また、原料を変化させる場合には、そのプロセスが持続可能なものでなければならないと定めています。

ダヴィネス社の分類基準では、成分の分子構造が100%自然由来である場合に限り、自然由来の成分として分類できると定めています。一方、ISOの基準では成分の分子構造が「少なくとも50%」自然由来であれば、自然由来成分の要件を満たすと定めているため、**ダヴィネス社の分類基準の方がISO16128よりも厳格であるといえます。**

OUR PERFORMANCE
地球

2018年のその他の進展と指標

ダヴィネス社製品の構成要素

成分

生分解性が高い成分の割合
（OECDの301試験法、
EC規制648/2004）

生分解性が高い成分
生分解性が低い成分

成分の分類別割合

オーガニック認証を受けた成分を含む
自然由来成分
ナチュラルモディファイド成分*
合成成分

*ナチュラルモディファイド成分とは、自然由来成分に合成成分を加え改良したものです

水

**製造施設内に設置された
閉ループ冷却システムによって、
同一プロセスで複数回、
水を再利用することができます。**

**ダヴィネスヴィレッジ内の庭園の
灌漑システムでは、地熱暖房と
冷却システムから発生した水を
再利用しています。**

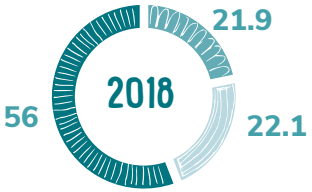
パッケージ

59.5%
**リサイクル資源を使用したパッケージ
（一次・二次・三次包装）の割合**

86.5%
**リサイクル資源を使用した紙・厚紙の
パッケージの割合**

44%
**バイオ素材またはリサイクルされた
プラスチックパッケージの割合**

プラスチックパッケージ
（一次・二次・三次包装）



バージン原料のプラスチックパッケージ
リサイクルされたプラスチックパッケージ
バイオ素材のプラスチックパッケージ

電力

100%
**パルマの製造施設で
再生可能電力を利用している割合**

71.4%
**海外支社で
再生可能電力を利用している割合**

リデュース・リユース・リサイクル・プロジェクト　ダヴィネス社全体のデータ　パルマ本社のデータ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
FOR THIS AREA

2018年のその他の進展と指標

カーボンフットプリント

ダヴィネス社は 2006年から間接的な温室効果ガスの排出量削減や相殺に取り組んでいます。パルマの製造施設では**再生可能エネルギーを利用して電力を供給する**とともに、売れ筋製品のパッケージ製造に伴う間接的な温室効果ガス（CO_2e）の排出量を相殺しています。2016年には、**会社が所有するハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車**の数を増やす目標を定めました。また、2017年には**パルマ本社と製造拠点**が排出源で削減できなかった CO_2e の排出量を相殺して**カーボンニュートラルを達成しました**。ダヴィネスヴィレッジがオープンした 2018年、化石燃料の利用を完全に中止し、**バイオメタンエネルギーと地熱エネルギー**に転換したことはダヴィネス社にとって大きな転機となりました。**海外支社もすべてカーボンニュートラルを達成し**、全製品のパッケージ製造から発生する **CO_2e の排出量を100%**相殺しました。

温室効果ガスプロトコルでは、事業者の CO_2e の排出を3つに分類しています。

1
暖房に利用する化石燃料の直接燃焼や会社所有の車両、空調の冷媒ガスの一時的放出から生じる CO_2e の排出

2
電力を利用した際の CO_2e の排出。ただし、再生可能エネルギーによる電力の場合には排出量はゼロ。

3
従業員の出張・通勤やパッケージの製造など、事業者の直接の管理が及ばない領域での排出

ダヴィネス社の CO_2e 排出量は5,201トンです。以下は事業拠点別の内訳です。

	パルマ本社／イタリア国内の製造施設	フランス支社	メキシコ支社	オランダ支社	英国支社	米国支社	香港支社 *
1（CO_2e：トン）	876.6	59.3	26.7	101.1	44.9	71.4	0.05
2（CO_2e：トン）	0	0	10.6	0	10.4	0	0.22
3（CO_2e：トン）	3999.7						

*香港支社は2018年12月に設立

2019年の目標

ダヴィネス社の重要イベントの間接的な温室効果ガスの排出量を相殺し、カーボンニュートラルを実現すること。

社員の通勤から発生する間接的な温室効果ガスの排出量を相殺すること。

LCA 分析を適用する全製品ラインの間接的な温室効果ガスの排出量を相殺すること。

OUR PERFORMANCE
地域社会

ダヴィネス社は、私たちが暮らし、働く地域社会の活力とレジリエンスを支援することで、環境や人々に与える良い影響を強化しています。

2018年の成果

**Bコーポレーションの文化を
ディストリビューターやサプライヤーに促進**

ダヴィネス社は相互に助け合うことの重要性を理解したことを契機に、Bコーポレーションの文化をパートナー企業と共有しています。これにより、持続可能な未来に向けた道のりに参加するパートナー企業が今後も増え続けることを期待しています。

その実現のため、**サプライヤーやディストリビューターとの会合**の機会を大幅に増やして情報を提供しています。また、Bコーポレーション認証のための質問票「**Bインパクト・アセスメント**」への回答を奨励しており、**2018年度はパートナー企業2社が認証を取得しました。**前年には2社が認証を取得しており、加えて、現在は4社が審査を受けている段階です。

再生可能電力の利用をサプライヤーに奨励

再生可能電力の利用は、最も簡単に実行できる持続可能な行動の1つです。サプライヤーがBコーポレーション認証企業になろうとしても、時間や労力を費やすことができないが、それでも変化が必要な場合、ダヴィネス社は再生可能電力を選択するように勧めています。このことはサプライヤーに対して期待する方向性を示唆する重要なシグナルとなっています。**2018年度は112社のサプライヤーが再生可能電力を利用しています。**

**良い影響を与え、地域に還元できるプロジェクトの拡大：
環境・社会・文化の持続可能性を支援**

2018年度ダヴィネス社は、地域の環境・社会・文化面での持続可能性を支援しました。こうした活動への**出資額は2017年度から倍増**しており、地域社会のプロジェクトを支援し、ダヴィネス社員もこれに参加しました。ダヴィネス社が主催し、**国内外で人々の共感を呼んだ**プロジェクトは、展覧会「The Third Day」、展覧会に伴うイベント「The Night of the Third Day」、緑地帯の建設「Km verde（グリーンキロメートル）」、音楽祭「Cittadella Music Festival」で、いずれも地域の魅力を大きく高めることに貢献しました。

プロジェクトはそれだけではありません。他にも「持続可能な開発祭」や「スローフェスティバル」など**4つの重要なプロジェクト**を主催しました。社員がこのようなプロジェクトに関わったことで、**ボランティア活動への参加時間**が前年同期比で**2倍**になるという素晴らしい成果を上げました。

2018年のその他の進展と指標

**パートナーへの信頼：
世界中でパートナーに出資しています。**

282
**行動規範を遵守して業務にあたっている
サプライヤーの数**

6
**2016年以降、Bコーポレーション認証企業になった
パートナー企業（サプライヤー、クライアント、ディストリビューター）の数**

4
**Bコーポレーション認証の審査を現在受けている
パートナー企業の数**

€ 485,875（約5,900万円）
社会・環境のための慈善活動に寄付した額

63
ダヴィネス社が支援する地域団体の数

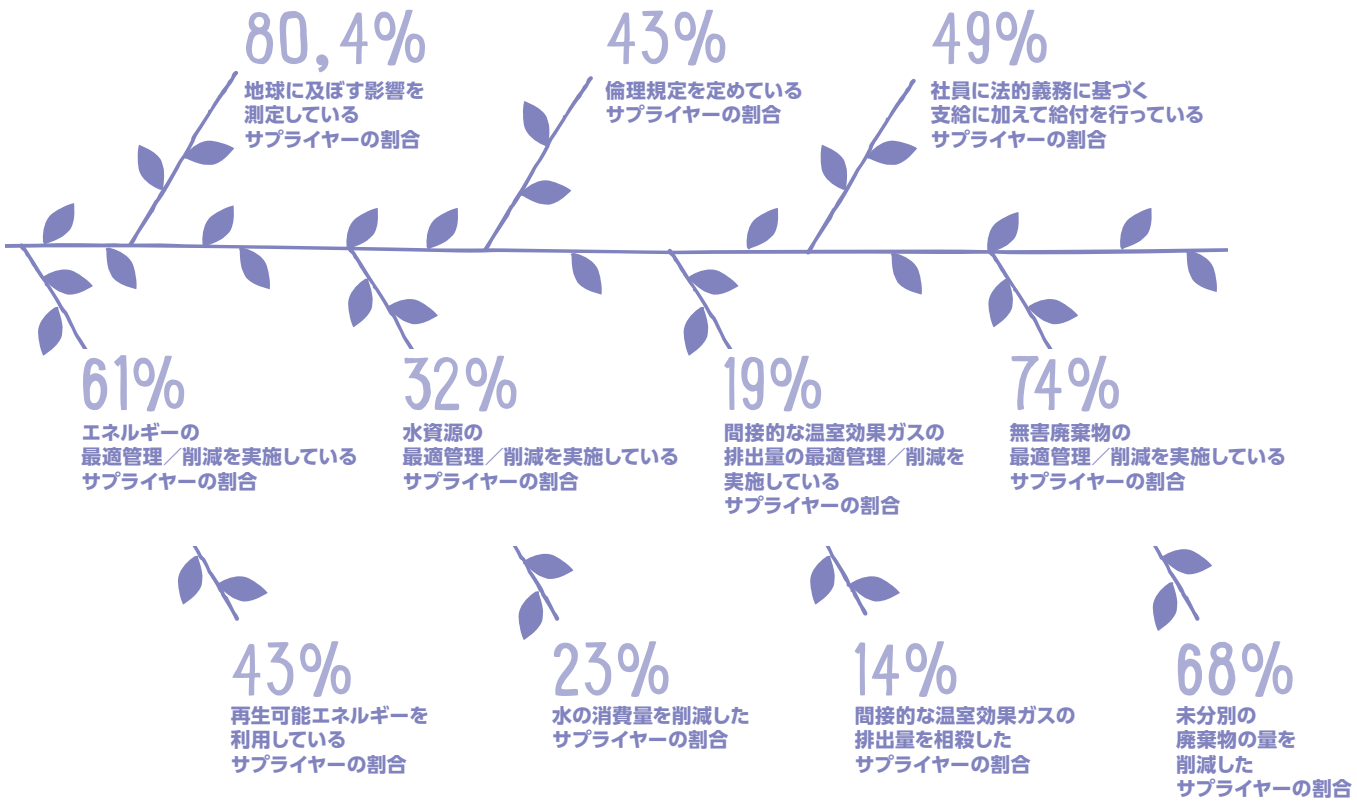
470 m
**Km Verde（グリーンキロメートル）プロジェクトのために
最初に植樹した距離**

目標達成／期間内にプロジェクト完了　目標未達／期間内にプロジェクト未完　ダヴィネス社全体のデータ　パルマ本社のデータ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
FOR THIS AREA

2018年のその他の進展と指標

ダヴィネス社は自社の価値観に基づいてサプライヤーを選定しています。



出典：ダヴィネス社による年次サプライヤー調査。ダヴィネス社の購買額 70%を占めるサプライヤーのデータ

2019年の目標

サミットを開催し、
サプライヤーの持続可能性を高めること。

イタリア Bコーポレーション2019
インパクト・プロジェクトを主導：
地中海ごみベルトのプラスチックを除去すること。

Bコーポレーション認証を取得した
パートナー企業の数を増やすこと。

地域プロジェクトの評価プロセスとして、誰もが賛同し、
（KPIに基づく）客観的な判断を担保した
公平で透明性のあるプロセスを構築すること。

追加情報

SUSTAINING-BEAUTY

www.sustaining-beauty.com

このウェブサイトには本報告書に含まれていない追加情報や最新情報が掲載されています。

また、過年度のサステナビリティレポートや「Carta Etica（カルタ・エティカ）」など、ダヴィネス社の刊行物すべてをご覧いただくことができます。

I SUSTAIN BEAUTY

www.isustainbeauty.com

[comfort zone]

SKIN SCIENCE SOUL

www.comfortzone.it

davines

sustainable beauty

www.davines.com

/skin regimen/

modern plant chemistry™

www.skinregimen.com

Certified B Corporation

www.bcorporation.net

Certified
B
Corporation

Davines & [comfort zone]
Italy

Via Calzolari Don Angelo 55
43126 Parma
Italia
T: +39 0521 965611
F: +39 0521 292597
www.davines.com
www.comfortzone.it

Davines & [comfort zone]
North America

50 West 23rd Street, PH
New York, NY 10010
United States
T: +1 212 924 24 70
F: +1 212 924 22 91
www.davines.com
www.comfortzone.it

Davines
France

28 Rue des Petites Ecuries
75010 Paris
France
T: +33 (0)1 4633 2213
www.davines.com

Davines & [comfort zone]
United Kingdom

14 Gray's Inn Road
Fox Court
London WC1X 8HN
United Kingdom
T: +44 (0)203 3015449
F: +44 (0)207 663 8082
www.davines.com
www.comfortzone.it

Davines & [comfort zone]
Netherlands

Boreelplein 67/68/69
7411 EH Deventer
Nederland
T: +31 (0)570 745170
www.davines.nl
www.comfortzone.it

Davines
Mexico

Av Colonia del Valle 420
Col del Valle Centro
03100, Ciudad de Mexico
Mexico
T: +52 55 5280 1850
F: +52 55 5280 1108
www.davines.com

Davines & [comfort zone]
Hong Kong

5/F Yue's house
306 Des Voeux Road
Central Hong Kong
www.davines.com
www.comfortzone.it

davines.jp

comfortzone.jp

この冊子は、適切に管理されたFSC® 認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

100%
FSC
www.fsc.org
RECYCLED
Paper made from recycled material
FSC® C016473